

第1回 熱回収施設等の周辺施設整備のあり方会検討委員会 会議録要旨

日時：2017年5月18日(木) 18:00～20:00

場所：町田市役所 2-2 会議室

■出席者（敬称略）

○委員

所属	名前	出欠
法政大学名誉教授	永井委員	○
桜美林大学教授	山口委員	○
町田リサイクル文化センター周辺 まちづくり協議会	高橋委員	○
	小林委員	○
	守屋委員	○
	佐藤委員	○
青少年健全育成小山田地区委員会	齋藤委員	○
NPO 法人アイスフォゲルススポーツクラブ	原田委員	○

○事務局

所属	名前	出欠
町田市	高橋副市長	○
政策経営部	小島部長	○
	企画政策課	樋口担当課長
環境資源部	水島部長	○
	田中担当部長	○
環境政策課	塩澤課長	○
	高橋担当課長	○
	濱田係長	○
	伊藤	○
	山田	○
循環型施設整備課	守田課長	○
	布施担当課長	○
資源循環課	林担当課長	○
スポーツ振興課	喜多担当係長	○
	地福	○
公園緑地課	新担当課長	○
	小野	○
市コンサルタント	アルテップ3名	○

○傍聴者 1名

■配布資料

- ・次第
- ・熱回収施設等の周辺施設整備のあり方検討委員会設置要綱
- ・委員名簿
- ・検討委員会の目的及び進め方
- ・忠生地域・バリューアッププラン
- ・町田リサイクル文化センター周辺まちづくりワークショップ実施結果
- ・検討条件等
- ・「忠生地域・バリューアッププラン」及びワークショップでの提案の整理

資料1

資料2

資料3

資料4

資料5

資料6

資料7

■議事要旨

○開会

- ・高橋副市長より、委員に委嘱状を交付
- ・高橋副市長より、挨拶
- ・高橋副市長、退席

○委員紹介

- ・委員より、自己紹介
- ・事務局より、自己紹介

○委員長・副委員長の選出

- ・委員の互選により、永井委員を委員長に選任
- ・永井委員長より、あいさつ
- ・委員の互選により、山口委員を副委員長に選任
- ・山口副委員長より、あいさつ
- ・委員長、副委員長、座席移動

○議事

- ・事務局（山田）より、資料の確認
- ・永井委員長より、議事の説明

（１）検討委員会の目的及び進め方について

- ・事務局（高橋担当課長）より、資料3の説明

守屋委員 資料3の3ページに記載されたスケジュールの中で、2021年度までの最終処分場等上部利用の整備について池の辺地区と書いてあるが、ワークショップで議論のあった旧埋立地や峠谷地区は入っていないのはなぜか。

塩澤課長 池の辺地区、峠谷地区、旧埋立地の位置については資料6を確認いただきたい。本委員会で策定する基本構想では峠谷地区と旧埋立地も検討対象とするが、今後5年程度で具体的に整備が進むのは池の辺地区のみである。峠谷地区と旧埋立地はまだ課題が残っており、具体的な整備に向けた検討を基本構想策定と並行して進めたい。

- 守屋委員 並行して検討するというのは、2021年までの整備計画に記載される可能性もあるということか。
- 塩澤課長 その点については、まだはっきり答えることができない。
- 小林委員 基本構想には、そのような含みを持った文章を入れていただきたい。
- 守屋委員 ワークショップでは、峠谷地区や旧埋立地も含めて議論して絵を描いた。検討委員会の議論の範囲についてもワークショップの成果を踏まえてもらいたい。
- 塩澤課長 整備の目途が立っているのは池の辺地区のみだが、旧埋立地等についても含めて検討したい。基本構想の議論としては、峠谷地区や旧埋立地を含めた全てを対象にする。

(2) 忠生地域・バリューアッププランについて

- ・事務局（高橋担当課長）より、資料4を説明

塩澤課長 資料4はワークショップの際に使用したもののため日付が平成29年1月28日となっているが、町田市がバリューアッププランを受理したのは平成27年2月である。

(3) 町田リサイクル文化センター周辺街づくりワークショップ実施結果について

- ・事務局（高橋担当課長）より、資料5を説明

永井委員長 資料5の12ページと15ページにある、「図面の外に記録しておくこと」という部分はどのような扱いになるのか。

守屋委員 図の中に書ききれないことを書いているもので、提案の一部である。

(4) 熱回収施設の周辺施設等整備基本構想の検討について

- ・事務局（高橋担当課長）より、資料6および資料7を説明

守屋委員 ワークショップでは旧埋立地に交通公園を配置しようという意見が多かった。旧埋立地のビン・カン中間処理施設や三角地を含めない広さでも自転車教習場を整備することはできるので、そのような点も踏まえてスケジュールを検討頂きたい。

塩澤課長 旧埋立地についてはまだ整備計画の段階まで辿り着いていない状況であり、基本構想の段階としてご意見をいただきたい。

高橋委員 全体としてどのようなものにしていくかが基本構想では大事な点となる。実施段階と分けて2段階で検討を進められれば良いと思う。

山口委員 計画は全体像を描くのが目的なので、そのような形で進められればよろしいと思う。

守屋委員 ワークショップでは旧埋立地や峠谷地区を含めた構想を検討したので、池の辺地区だけを取り上げるのでは基本構想にならない。旧埋立地や峠谷地区も含めて基本構想を検討していただきたい。

永井委員長 全体を対象に議論し、整備については段階的に検討するという事で共通認識できたと思う。

山口委員 資料7を見て、細かいところは違っても、地域のみなさんの大まかな考え方は類似しているように読み取った。例えば池の辺地区は広場を中心に、駐車場やトイレなど現実的なものを配置し、緩衝斜面では尾根緑道との接続を考える。峠谷地区はスポーツ施設、旧埋立地は交通公園といった内容だ。一枚岩でまとめやすい印象を持った。

高橋委員 検討条件について、健康増進温浴施設の敷地が第1駐車場だけでは狭いのではないかと

いう意見がワークショップで多く出た。ロータリーの上部を利用して面積を増やす案が各グループから出ていたので、そのような提案も意識して検討されたい。

佐藤委員 屋上が後ろ側の斜面と同程度の高さになるため、背面の道路との接続も考慮した建物をお願いしたい。

小林委員 佐藤委員からもあったように、勾配をとらなくても屋上利用が可能であるため、駐車場を確保できるのではないか。検討いただきたい。

佐藤委員 池の辺地区の覆土が1～2mだけだということだが、それ以上の厚さにかさ上げする可能性はあるのか。

林担当課長 池の辺地区の埋め立ては、計画容量に対して99.99%終了しているため、それ以上に埋め立てを行う場合には東京都との話し合いが必要である。上部利用の議論と並行して、東京都と協議する余地はあるが、現時点では最終的にも1～2mの覆土厚となることを想定している。

塩澤課長 健康増進温浴施設の屋上駐車場やロータリー上部の利用について、実現可能性の判断に関しては設計の段階で地域の皆様にご意見いただくことになると思うが、基本構想の段階でも、中に入れる機能に応じて必要性を議論していただければと思う。

齋藤委員 池の辺地区の管から出てくるガスはもう安定した状態になっているのか。化学物質などの心配はないか。

林担当課長

- ・最終処分場については埋め立てが10年以上前に終了しており、ガスが発生していないわけではないが、心配のいらぬ発生量である。処分場の閉鎖手続きを行うまでは現状のガス抜き管でモニタリングを続ける。
- ・上部利用の段階でもガス抜きは継続する必要があり、管を集約すること、街灯を兼ねた排気口とすることなどを検討したい。

高橋委員 ワークショップでは子どもが自由に遊べる場所が少ないという意見が多く出たが、そのような観点で図師小学校の現状について、原田委員に教えていただきたい。

原田委員 現在、図師小学校ではグラウンドと体育館を開放しており、野球をはじめとして、子供の団体と大人の団体の両方から利用がある。土日は活動が集中し、午前と午後で分けているが、ほぼ空きがない状況であるが、利用枠を増やしたいという要望や、他の地域で場所を使えない団体からの連絡が年間を通じて来る。駐車場がない、夜間照明がなく使用時間が限られるという課題もある。

永井委員長

- ・資料7の2ページはワークショップの提案をまとめて図面上に表現したものになる。これを見ながら、最終処分場の上部利用について議論し、たたき台を作りたい。
- ・旧埋立地は平たん部と三角地に分けて提案されている。平たん部は交通公園という意見で全グループ一致しているが、そのような形でまとめてよいか。

守屋委員 青梅市にある交通公園は多世代で楽しめ、広域から人が呼び込める施設になっている。期待も高いので、この位置にぜひ作っていただきたい。

永井委員長

- ・旧埋立地平たん部は交通公園ということでまとめたい。三角地については駐車場という意見が多かったので、トイレや管理棟などの詳細は後ほど検討するとして、異存なければ駐車場ということにしたい。
- ・池の辺地区については広場、峠谷地区についてはスポーツを楽しむという意見が多

いため、そのように機能を分けるという形で考えられればと思うが、どうか。

- 山口委員** 峠谷地区は健康増進温浴施設にも近いため、連動を考えてスポーツ利用とするのが好ましいだろう。池の辺地区は尾根緑道との接続を考えると広場が相性が良い。
- 守屋委員** 池の辺地区についても、多目的広場という意味合いでは、スポーツもできるという位置づけのほうが活用できるのでないか。地区の運動会などにも使えると良い。
- 永井委員長** スポーツを兼ねた多目的広場ということで、事務局としてもよろしいか。
- 塩澤課長** **資料7**でも、多目的広場の提案の中にスポーツも含めたいろいろな機能の意見がある。
- 高橋委員** 峠谷地区は高低差があり、設置できる可能性があるものが限られる。それを踏まえると池の辺地区の多目的広場でもスポーツができるようにという流れになるだろう。
- 守屋委員** 峠谷地区の利用の方針が定まらないと、池の辺地区の使い方も決まらないうだろう。
- 塩澤委員** 峠谷地区は、現状の凹んだ地形のまま、平たん部のみを利用するのが望ましいと考える。その中で入るとすると、ソフトボール場程度になる。
- 佐藤委員** 峠谷地区は、埋め立てを行って平たん部を広く使うようなことも可能だと思うが、事務局ではどのように考えているか。
- 林担当課長** 峠谷地区は66%程度の埋め立て進捗率の段階で埋め立てを中止しているが、ごみと覆土を交互に埋め立てることが条件になっており、残りの容量を土だけで埋める場合は、東京都との協議が必要である。そのような可能性も検討していただければと思うが、先述の理由から確約はできない。
- 守屋委員** 池の辺地区の西側に多摩都市モノレールが導入されるが、駅がどの位置にできるのかという疑問がワークショップでも上がった。駅の位置に関して、基本構想にあわせて町田未来づくりプランの中にも修正が行われるのか。
- 樋口担当課長** 未来づくりプランでは、交通機関については検討を進めるという位置づけで、駅の場所は明確に決まっていない。今後、東京都と総合的に調整する予定であり、現時点で結論を出すことはできない。
- 守屋委員** 本委員会での基本構想の検討にあわせて、未来づくりプランにも内容が反映される可能性はあるのか。
- 樋口担当課長** 検討過程の内容については、可能な箇所から調整していきたい。
- 小林委員** ワークショップでは、多目的広場とは別に、子どもだけが専用に遊べるエリアをつくりたいという意見もあった。また、通路については幅や樹木の議論もした。そのような点も含めて検討されたい。
- 塩澤課長** 通路が必要かどうか、通路を作る場合に花壇を置くかといった点も議論いただいて良い。
- 永井委員長** ・池の辺地区の平たん部については多目的広場、峠谷地区はスポーツを楽しむグラウンドということで、まとめさせていただく。
・つぎに、池の辺地区の斜面および緩衝斜面を議論したい。斜面については、花壇または冒険広場という意見があるが、何か意見はあるか。
- 佐藤委員** 斜面はかなり急なので、冒険広場とするには危険である。緩衝斜面を、芹ヶ谷公園のように自然を用いた冒険広場とするのが良いのではないか。
- 高橋委員** 神奈川県立あいかわ公園には子供向けのアスレチックがあり、かなり急な斜面を利用して滑り台や迷路を作っている。町田方式の冒険広場として考えるのではなく、どのような施設が作れるかという視点で広く考えられればと思う。

- 佐藤委員 池の辺地区斜面の場合は、下に調整池があるので、危険だろう。
- 齋藤委員 斜面の傾斜は何度くらいになるか。
- 林担当課長 確かな数字はこの場では不明だが、30度前後の傾斜はある。
- 永井委員長 池の辺地区の斜面については、冒険広場あるいは花壇ということで次回までに検討していただきたい。
- 小林委員 花壇だけでは斜面は広すぎるようにも感じるので、考えていただきたい。
- 永井委員長 池の辺地区の平たん部の分け方についてはどうか。
- 山口委員 周りの機能の入り方に合わせて平たん部の分け方を考えるのがよいのではないかと。機能を分けること自体は差支えない。
- 佐藤委員 休憩室やトイレが欲しいという意見もあった。そういった施設配置も検討されたい。
- 山口委員 駐車場に併せてトイレやあずまやを配置するのが効率的であろう。
- 永井委員長 ・池の辺地区平たん部は芝生の多目的広場とし、細かい機能は次回以降という形で進められればと思うが、部分的に土にする、遊具を設置するという点について意見はあるか。
- ・池の辺地区の桜台通り沿いについては、異存がなければ駐車場と駐輪場とする。
- 高橋委員 平たん部中央の広い部分を芝生にすると管理が困難である。町田シバヒロは芝が傷んでいるし、千葉市には立派な芝生のサッカー場があるが、芝生を傷めないように週に1回しか使えず本末転倒である。芝生は北側の遊び場程度にするのが良いのではないかと。
- 永井委員長 芝生というのは、人工芝か、天然芝か。
- 塩澤課長 ワークショップでは人工芝ではなく、天然芝のイメージであった。
- 守屋委員 八王子市の戸吹スポーツ公園は人工芝になっていた。
- 永井委員長 北側については子どもが遊ぶので天然芝が良いだろう。中央部については芝生以外の仕上げも検討するという点でどうか。
- 守屋委員 土の状態が最終処分場の上部を利用して、安全上の問題はないか。
- 林担当課長 覆土の状態が公園を利用しても差支えない。
- 高橋委員 図師小学校のグラウンドは排水もよいが、池の辺地区に関しては土だと排水が悪く、使い勝手が悪いかもしれない。原田委員はどう思うか。
- 原田委員 雨で有害物質が染み出てこないかという心配があり、そのような観点では人工芝のほうが良いだろう。八王子市の戸吹スポーツ公園も人工芝のグラウンドを作っている。
- 林担当課長 雨が降ると水は下に向かって浸透し、管を通して排水処理センターに向かうため、表面に上がってくることはない。排水が悪く水がたまることがあるが、その中にごみから溶け出した物質が入ることはない。
- 原田委員 芝生の方が土ぼこりが発生しないため、周辺住民からすると芝生のほうが良いだろう。一方で、芝生の維持管理には労力が必要である。
- 永井委員長 ・芝生にするか土にするかは、次回も引き続き検討したい。
- ・最後に、緩衝斜面について議論したい。最も多い意見はアスレチックで、花壇やランドゴルフという意見もあるが、何か意見はあるか。
- 佐藤委員 この場所でランドゴルフは不可能だと思う。自然や遊具を使って遊び場にできると良いだろう。
- 齋藤委員 これだけ傾斜地があるのであれば、近年盛んになっているボルダリングも考えてもよい

のではないか。オリンピックに向けて競技人口も増えるだろう。

佐藤委員 ボルダリングについては峠谷地区の斜面を使うのもよいだろう。

山口委員 ・ボルダリングは、斜面でなく垂直な壁が必要になるが、部分的な設置は考えられる。
・池の辺地区緩衝斜面については、尾根緑道から見下ろす景色を大事にできるとよい。

永井委員長 緩衝斜面については、アスレチックを中心に事務局に検討していただければと思う。

守屋委員 池の辺地区平たん部は26,000㎡の広さがあるが、大人向けのソフトボールはできないのか。

塩澤課長 ワークショップで検討したが、野球場とサッカー場のフルピッチは無理でも、もう少し絞り込んだものなら不可能ではないだろう。ただし、ボールが飛んだときの安全性などの課題はある。

小林委員 少年野球のグラウンドが無く、困っている。少年野球ができる程度のスペースは確保したい。

永井委員長 ・少年野球となると頻繁に使うので、他団体と競合する可能性があり、運営上の工夫が必要であるが、使えるようになると望ましいだろう。
・今回いただいた意見を反映して事務局でたたき台を作成し、次回に持ち込みたい。その際、一周できるランニングコースや尾根緑道との接続などについても検討していただきたい。

・健康増進温浴施設について、発言しておきたいことはあるか。

山口委員 ・健康増進温浴施設については、民間施設との競合は避けるべきだ。岩盤浴や足湯など民間業務を圧迫するものは、民間企業からの苦情も想定され、公共施設としては最小限に抑えるのが望ましいのではないか。
・延床面積も限られているため、施設の種類を絞って広く使えるようにしたほうが、利用者の満足度も高くなるだろう。

永井委員長 ・健康増進温浴施設についても、今回いただいた意見を反映して事務局でたたき台を作成し、次回議論したい。

○閉会

永井委員長 次回の検討委員会は7月13日（木）午後6時から開催する。

事務局（山田） ・次回について、有益な議論とするために、会議の前に現場視察を行うことを提案したい。当日、17時半に現地視察を開始し18時から会議を始めるか、18時から視察を行い18時半に会議開始とするか、ご検討いただきたい。
・会議の場所はリサイクル文化センター（仮事務所）の会議室となる。

永井委員長 異存なければ、17時半集合としてはどうか。

事務局（山田） そのような方向で調整させていただく。

以 上